

漂流する ソーシャルワーカー

福祉実践の現実とジレンマ

新刊！

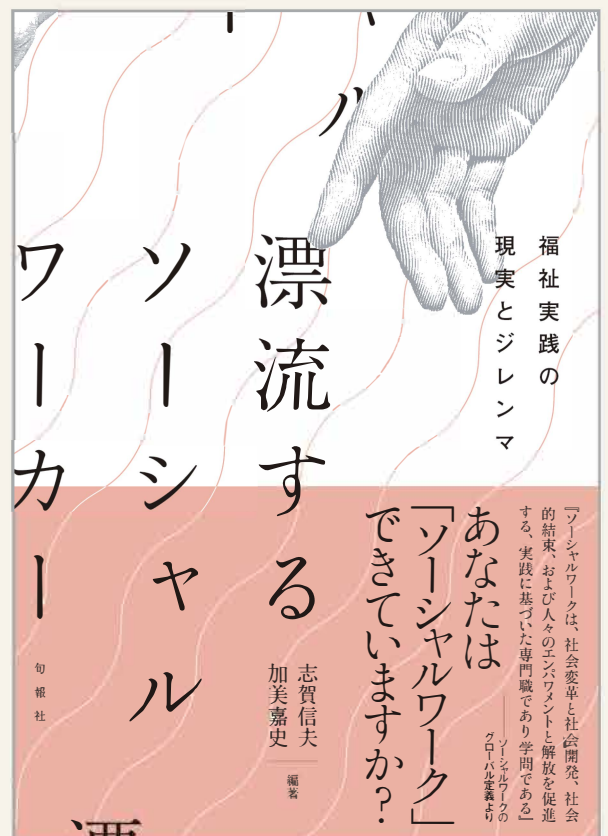
編著：志賀信夫・加美嘉史

福祉の担い手としての自分とコストの抑制や効率が優先される労働者としての自分との板挟みで苦悩するソーシャルワーカー（SW）。このジレンマをどう乗り越えればいいのか。福祉現場、社会構造、教育過程など多方面から論究する。現職 SW や SW を志す学生にも資する一冊。

主な目次

- 第1章 社会福祉・ソーシャルワーク教育の可能性を歴史に求めて
加美嘉史（佛教大学社会福祉学部教授）
- 第2章 ソーシャルワーク教育の現状と課題
中野加奈子（大谷大学社会学部教授）
- 第3章 ソーシャルワークと社会福祉労働
日田 剛（九州医療科学大学社会福祉学部准教授）
- 第4章 隣の国では!? 韓国ソーシャルワーカーの教育、実践、
連帯と運動 孔栄鍾（佛教大学社会福祉学部准教授）
- 第5章 「専門的」に、ではなく「反社会的」に!?
岡部 茜（大谷大学社会学部講師）
- 第6章 ソーシャルワークの拒否へ向けて
桜井啓太（立命館大学産業社会学部准教授）
- 第7章 福祉労働者がソーシャルワーカーになるために
志賀信夫（大分大学福祉健康科学部准教授）

あなたは
「ソーシャルワーク」
できていますか？



A5判・200頁・1980円（税込）
旬報社刊

目次

はじめに……………志賀信夫

第1章 社会福祉・ソーシャルワーク教育の可能性を歴史に求めて
—社会福祉教育の展開：戦前期から社会福祉士制度成立まで
……………加美嘉史

はじめに

- 1 戦前期の社会事業教育—「非専門職」による社会事業
 - (1) 社会事業従事者養成教育のはじまり
 - (2) 「非専門職」が担った社会事業
 - 2 戦後占領政策と社会事業教育の再始動
 - (1) アメリカの占領政策構想と専門職養成の再開
 - (2) 短期間で策定された「社会事業学部設立基準」
 - (3) ケースワーク導入をめぐる期待と矛盾
 - (4) 日本独自の教育体系の模索—「ソーシャル・アクション」の提起
 - 3 福祉労働者の労働環境と資格化への動き
 - (1) 女性が支えた福祉現場—過酷な労働環境
 - (2) 「社会福祉士法」制定試案—資格化は労働環境改善をもたらすのか？
 - (3) 社会福祉労働論の登場と意義
 - (4) ソーシャル・アクション、大学紛争の時代から職能訓練重視の時代へ
 - 4 社会福祉士制度成立の背景
 - (1) 民間活力導入と新たな資格制度の創設
 - (2) 社会福祉士の定義をめぐる問題
 - (3) 回避された議論
 - 5 国家資格化は社会福祉教育をどう変えたか？
 - (1) 社会福祉教育の変容
 - (2) 消えた社会科学系科目とソーシャル・アクション
- おわりに—社会福祉教育の可能性を求めて

第2章 ソーシャルワーク教育の現状と課題 ……………中野加奈子

- 1 社会福祉士資格の現状
 - (1) 社会福祉士が働く領域の多様性
 - (2) 社会福祉士が従事する職種・職位の多様性
- 2 「国家試験」がもたらす弊害
 - (1) 「労働の資格化」
 - (2) 専門知に対する軽視
 - (3) 国家試験としての課題
- 3 社会福祉士がソーシャルワーク実践者 (Socialworkpractitioner) であるために
 - (1) イギリスにおける SocialWorkActionNetwork の活動
 - (2) 社会福祉士養成課程の進む方向とは

第3章 ソーシャルワークと社会福祉労働 ……………日田 剛

- 1 ソーシャルワーカーを取り巻く問題
 - (1) ソーシャルワーカーのモヤモヤ
 - (2) 根本的な原因に踏み込む
- 2 社会福祉労働者としてのソーシャルワーカー
 - (1) 社会福祉労働者への視点
 - (2) ソーシャルワーカーの「労働者性」
 - (3) 市場化のもとで商品にされる労働力
- 3 疎外される労働 (ソーシャルワーク)
 - (1) ソーシャルワーク労働者？
 - (2) 疎外されたソーシャルワーク
- 4 希望としての連帯

第4章 隣の国では!?

韓国ソーシャルワーカーの教育、実践、連帯と運動……………孔栄鍾

はじめに

- (1) 韓国の現況
- (2) なぜ韓国に注目したのか
- 1 韓国ソーシャルワーカーの資格制度の歴史
 - (1) 資格制度の導入
 - (2) 社会福祉事業従事者から社会福祉士へ
 - (3) 国家試験の導入
 - (4) 職務・資格の多様化

- 2 韓国ソーシャルワーク教育の現局面
 - (1) 初期のソーシャルワーク教育
 - (2) ソーシャルワーク教育の実践現場との乖離
 - (3) ソーシャルワーク教育への省察
 - 3 韓国ソーシャルワーカーの連帯と運動
 - (1) 福祉現場の変容
 - (2) ソーシャルワーカーの連帯と運動の契機
 - (3) 「せぼっさ」活動の展開とその意義
- おわりに

第5章 「専門的」に、ではなく「反社会的」に!?

—賃労働としての福祉労働と抵抗— ……………岡部 茜

はじめに

- 1 専門性への関心と「賃労働者性」への無関心
 - (1) 専門性への信頼
 - (2) 後景化する「賃労働者性」
- 2 どうしようもなく賃労働者であること
 - (1) 資本主義国家を支える福祉労働
 - (2) 賃労働者としての連帯
 - (3) しかし、専門性は連帯を阻害する？
- 3 「社会」福祉労働者よ、「反社会的」に!
 - (1) 〈専門性〉への欲望を問う
 - (2) 賃労働者の問題に立ち返る
 - (3) どうにかしてくれ、そして、ほっとしてくれ!
 - (4) 「社会」の収奪から逃げる……「資源化」に抗して

第6章 ソーシャルワークの拒否へ向けて ……………桜井啓太

- 1 ソーシャルワーク Socialwork と支える手 hand
 - 2 労働が大好き / Socialwork is work
 - 3 そんなにいいものではない
 - 4 労働の拒否 / ソーシャルワークの拒否
 - 5 このようにソーシャルワークしない技術
 - 6 だまってトイレをつまらせる
【小休止 大阪市のプリペイドカード実験】
 - 7 日常型の抵抗
 - 8 ソーシャルワークに抗するソーシャルワーカー
- おわりに—平手から握りこぶしへ

第7章 福祉労働者がソーシャルワーカーになるために ……………志賀信夫

- 1 問題提起
- 2 賃労働者としての福祉労働者
- 3 福祉の市場化・商品化
 - (1) 技術と専門性
 - (2) 効果測定・数値化による「部分人間」の抽象化
 - (3) 福祉労働における物象化—相対する「部分労働者」と「部分人間」
- 4 福祉労働者がソーシャルワーカーになるために
 - (1) 国有化
 - (2) 準市場化
 - (3) 「自治」—職場や労働市場における福祉労働者の自律
- 5 予想される批判に対して
- 6 自由・平等・所有そしてベンサム

おわりに……………加美嘉史

Column① 筆者と「世界を変える社会福祉士」…………… 김혜미(キムヘミ)
Column② 福祉の市場化に飲み込まれる福祉専門職…………… 鶴 幸一郎

お求めは最寄りの書店へご注文ください。

注 文 書	漂流するソーシャルワーカー 福祉実践の現実とジレンマ A5判・200頁・1980円(税込)	お名前 ご住所 ご連絡先	取扱書店
	 旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 544・4F Tel03-5579-8973 Fax03-5579-8975		注文 冊